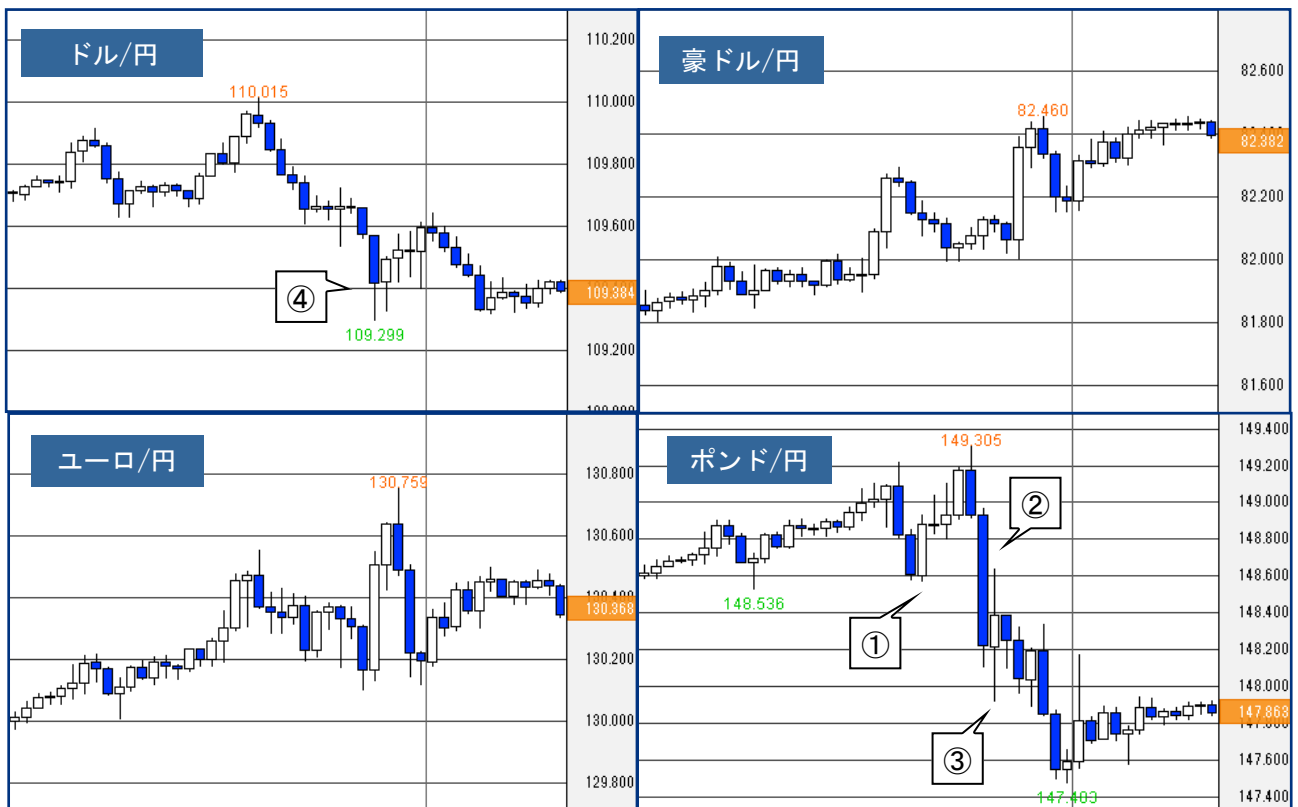


5月11日(金)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、110円の重さを再確認

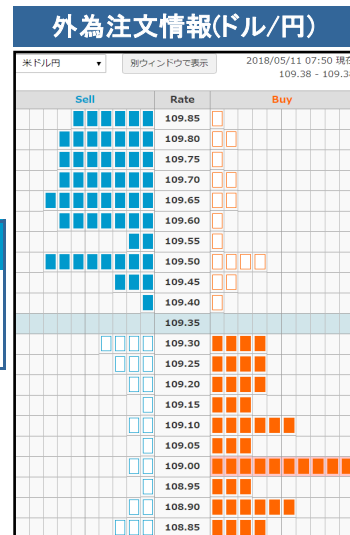
### 10日(木)の為替相場



期間：10日(木)午前6時10分～11日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 英3月鉱工業生産は前月比+0.1%となり市場予想(+0.2%)を下回った。また、英3月貿易収支も122.87億ポンドの赤字と、市場予想(113.00億ポンドの赤字)を下回った。
- ② 英中銀(BOE)は金融政策委員会(MPC)終了後に政策金利(0.50%)と資産購入規模(4350億ポンド)の維持を発表。同時に公表した議事録では、政策据置きが7対2で決定した事が明らかとなり、利上げ支持は前回と同じく2票にとどまった。また、四半期インフレレポートでは1年後のインフレ率見通しを2.13%とし、前回の2.28%から下方修正。2年後についても2.03%に引き下げた(前回2.11%)。経済成長率見通しも、2018年を+1.8%から+1.4%、2019年を+1.8%から+1.7%へそれぞれ下方修正した。レポートで「今後数年間で限定的な引締めのみ必要」との見解を示した事もあってポンド売りが活発化した。
- ③ カーニーBOE総裁は会見で「英国経済は、利上げに対応した成長路線を辿っていない」「ブレグジットへの警戒感が、英国経済の足かせとなっている」と述べた。ただ、「MPCの多数派は、景況感の改善を見極めたいとしている」「経済のモーメンタムはいずれ力強さを増す見込み」との見解も示した。
- ④ 米3月消費者物価指数は前月比+0.2%と市場予想(+0.3%)に届かなかった。前年比では+2.5%と予想どおりの伸びとなったが、コア前年比は+2.1%と予想(+2.2%)を下回った。これを受けて米長期金利が低下するとドル売り・円買いが強まりドル/円は109.30円前後まで下落した。なお、米新規失業保険申請件数は21.1万件と予想(21.9万件)を下回る好結果であった。

10日(木)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22497.18 △88.30	6118.748 △10.724	3174.413 △15.263	7700.97 △38.45	13022.87 △79.81
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24739.53 △196.99	0.0530% ▼0.0010	2.774% ▼0.006	1.430% ▼0.027	0.557% ▼0.002
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5302% △0.0002	2.9622% ▼0.0420	71.36 △0.22	1322.30 △9.30	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.700-109.800	129.600-131.000	81.800-82.800	147.100-148.600

【ドル/円】  
 昨日のドル/円は109円台前半へと反落。一時110円台にタッチしたが、米4月消費者物価指数の伸びが予想を下回り米長期金利が低下すると109.30円前後まで下落した。心理的節目の110円前後では売り圧力が強い事を改めて確認した格好だ。本日のところは、週末を控えて上値トライ再開の機運は高まりにくい地合いであろう。なお、昨日のドル/円は、世界的に株式市場が堅調だった事で下げ渋った面もある。米長期金利の動きとともに株価動向が本日のカギを握る事になりそうだ。もし、4日安値の108.65円前後を割り込めば日足チャート上にミニダブルトップが完成する事になるだけに、下値をめぐる攻防となった場合には注意が必要だろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/11(金)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(10-25年、25年超)	—	—
	10:30		(豪) 3月住宅ローン貸出(前月比)	-0.2%	-1.8%
	14:45		(日) 黒田日銀総裁、衆院財務金融委に出席	—	—
	21:30		(米) 4月輸入物価指数(前月比)	±0.0%	+0.5%
	21:30		(米) ブラード・セントルイス連銀総裁、講演	—	—
	22:15	◎	(ユーロ圏) ドラギ ECB総裁、講演	—	—
	23:00	○	(米) 5月ミンガン大消費者信頼感指数・速報	98.8	98.3

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。